

まつさかじょうかまち いせき
松坂城下町遺跡

発掘調査期間：平成27年5月上旬～随時

所在地：松阪市本町（まつさかしほんまち）

国道42号鎌田町交差点を南進した、近鉄・JR線路の地下道建設地点付近

(※工事現場のため見学はできません)

位置情報URL：[三重県地図情報サービス](#) 松坂城下町遺跡発掘調査現場

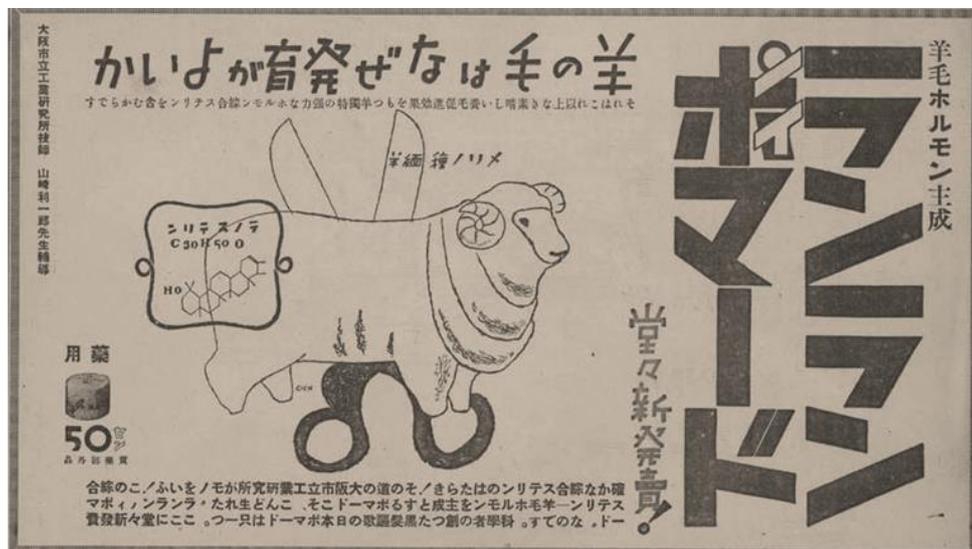


出土したポマード容器（本来は陶器製の蓋がつく）

松阪のモダン

松坂城下町遺跡は江戸時代の遺跡ですが、発掘調査では近代（明治～昭和初期）の生活を知る手がかりも得られています。そのうちのひとつを紹介しましょう。

上の写真は陶器製のポマード（整髪料）容器で、「RANRAN NEU POMADE」（ランランノイポマード）とあります。下の新聞広告から、昭和13年（1938）に、「堂々新発売」となったポマードだとわかりました。藍色の印字が目立つ、とてもシンプルなデザインの容器です。



『名古屋新聞』昭和13年6月23日夕刊広告「ランランノイポマード」

※NEU（ノイ）はドイツ語で「新しい」

（画像提供：東京大学総合研究博物館）

ランランポマードと昭和初期のモダニズム

ランランポマードは、日本のモダンデザインの先駆者と称される今竹七郎（1905 - 2000 年）が、昭和 11 年（1936）から広告デザインを担当したことで有名です。なお、後年の彼のデザインには、メンソレータム®（ロート製薬株式会社）のナースマーク、輪ゴムのオーバンド®（株式会社共和）の箱などがあります。

彼は、前衛芸術であるシュールレアリズムの手法を広告に取り入れ、その大胆さ、斬新さで多くの人びとを魅了しました。ランランにまつわる今竹の回想を見てみましょう。

「容器から広告宣伝に至るまですべてのデザインを一任するから、思いのまま自由に振舞ってほしいというんです。（中略）かねてから抱いていた夢の実験でしたが、これが広告界にうけたんです」

（原文は「聞き書きデザイン史」『たて組ヨコ組』32号、モリサワ、1991年。のち今竹七郎の記録編集委員会編『今竹七郎とその時代』誠文堂新光社、2003年に再掲）

どうやら、この出土品も、今竹のデザインによるものとみてよさそうです。

昭和4年（1929）、世界大恐慌が起きますが、幸いにも日本は世界に先がけて不況を脱しました。好況を背景に、東京や大阪で華やかな都市文化が生まれ、地方にも波及していきます。また同時に、それまでの伝統的な慣習や文化を変えようとする気風（モダニズム）も広まりました。



左：『大阪朝日新聞』

昭和 12 年 4 月 30 日広告

「ランラン香油」

右：大阪毎日新聞

昭和 11 年 5 月 22 日広告

「ランランチック」

（画像提供：

東京大学総合研究博物館）

戦争と代用品時代

しかし、昭和 12 年（1937）に日中全面戦争へ突入すると、華やかな容姿の禁止、金属やガラス製品の統制、配給制、広告にも戦意高揚の標語が入るなど、市民生活は一変してしまいます。

もともと、ランランポマードの容器は、白いガラスに金属製の蓋が付く美しいものでした。しかし、新製品のランランノイポマードでは、容器・蓋とも陶器製に変わっています。国策で、資源の統制と代用品への転換が進められたためでしょう。

この出土品は、昭和初期のモダニズムの終わりと「代用品時代」の幕開けを示す、松阪の「おもろいもん」といえます。

いま、松阪市街地に昭和初期の面影はほとんどありません。地中に埋もれた近代の歴史を掘り起こし、後世に伝えていくことも発掘調査の役割なのです。



「代用品時代」記事

※前頁広告と同日同面に掲載

（画像提供：

東京大学総合研究博物館）



ランランポマードの白色ガラス製容器（担当私物。アンティークショップで入手したもの）

※ラベルの字体は、昭和8～9年の新聞広告の字体と似ている。今竹が関わる以前のものかもしれない。

参考：昭和13年前後のできごと

- 昭和 4年（1929） 世界大恐慌起こる。小林多喜二『蟹工船』、映画『大学は出たけれど』
- 昭和 6年（1931） 満州事変、映画で初のトーキー上映、田川水泡『のらくろ』連載開始
- 昭和 7年（1932） 5・15事件、チャップリン来日、松阪で初のアスファルト舗装
- 昭和 8年（1933） 国際連盟脱退、ヨーヨー流行、映画「キングコング」、松阪に市制施行
- 昭和11年（1936） 2・26事件、ベルリンオリンピック、日本職業野球連盟結成
- 昭和12年（1937） 盧溝橋事件、日中全面戦争へ。標語「パーマネントはやめませう」「代用品時代」
- 昭和13年（1938）** 国家総動員法公布、映画『風と共に去りぬ』

日本硝子工業組合連合会が設立され、板ガラス以外のガラス製品が統制される
三重県下の歓楽街で自粛申し合わせ

物資統制・動員のため、松阪にも各種商工業組合ができる

- 昭和14年（1939） ノモンハン事件、第二次世界大戦はじまる。国民徴用令公布

（石上英一他編『岩波日本史辞典』岩波書店、1999年、桜井準也『ガラス瓶の考古学』六一書房、2006年、松阪市『松阪市史』別巻2 索引・年表、1985年より抜粋）



<問い合わせ先>

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503

三重県埋蔵文化財センター

調査研究1課（担当：櫻井）

電話：0596-52-1732

FAX：0596-52-7035

E-mail：maibun@pref.mie.jp

調査風景（東から）